

軍事秘

三三空襲戰聞詳報

⊕

第三陸上勤務隊

83706



Handwritten notes or signatures in the bottom right corner of the page.

陸上勤務隊第七中隊戰鬥詳報

一 戰鬥經過概要

一月三日ヨロヨロ本島全域ヨリ空襲敵言報發令セラレ

昨三日官報島ヲ大舉空襲セシ敵機動部隊ハ比島戰局ト相呼

應シ我カ補給路遮断ヲ企圖セシモ、如ク艦載機(カミカゼ)及

機銃ヲ以テ至一ハシ、間本島東西ヲ據點ヲ空襲セリ

中隊ハ茅草野戰貨物廠署命、作業出勤、言連備中ナルヲ

以テ直々ニ別紙空襲時ニ於ケル計画ニ基キ各小隊ヲ區署ニ所定

位置ニ分散待機セシム

又セ、敵ハ小編隊ヲ以テ茅草一次攻撃ヲ東南方向ヨリ那覇及

百里ニ對シ傾注スレモ、如ク中隊駐留地(津嘉山)上空ヲ通過ス

直後我カ制空部隊、銃砲声ト敵機投彈音ト爆發音ヲ聞ク

敵ハ爾後逐次機數ヲ増シ大小編隊ヲ以テ間断ナク來襲シ

其ノ都度友軍高射砲彈片及彈種不明ノ小型爆發物類

リニ降下ス

豊見城

一、三〇〇番車庫村全良ニ燒夷彈ヨリ火災發生セルニ依リ直々ニ中隊  
 八才ニ隊長ヨリ子々編成セラレ七回大要員ヨ現場ニ急派セル所  
 在ニテ消防隊ト協力消火ニ努ムルモ該方面ハ小緑飛行場攻慮  
 ニ対スル敵機通過頻繁ニシテ燒夷彈及小型爆彈ヲ投下シタ  
 火災災モ百十以上更ニ消火要員ニロモ急派セル消火金  
 三才ニ隊長ヨリ搬出作業ヲ實施セルノ作業中陸軍三才兵牛田  
 南雄ハ敵彈ヲタミテ所ニ爆彈破片傷ヲ受ク一雨後全員決  
 死的消火作業ニ依リ約一時間後鎮火セルモ他ニ類焼ヤケレタリ  
 三才ニ隊長ヨリ諸才ニ下隊擔任各集積所敵遺物分哨ヨリ八才ニ隊長  
 對シ與テ指示ヲ行ハシ報告ヲ受ク

一、三〇〇敵機七機編隊以テ津嘉山上空ニ集積シ小型爆彈ヲ投下シ  
 下此レカ爲害物敵本部附近ノ民家ヨリ三才所火災ヲ生シ直々ニ  
 三才隊ヨリ貨物廠ニ派遣セル所在防火要員ハ現場ニ至リ消火ニ努ム

ハニ燒ニ至リテ鎮火セルタリ

雨後敵機ハ高度及超低空ヲ以テ各港灣及重要建築物を奇  
 コ乱射シ尚各部各ニ対シテ直射ヨ及覆ヌ就中一團嘉石ニ至リ  
 彈種不明ノ小型爆彈投下激シテ諸勤務及連絡者ノ行動  
 ヲ著レク租屋セリ一七〇〇濱野ニ手兵ハ中隊連絡ヲ爲行動中  
 本部前道路上ニ於テ左大腿部ニ爆彈破片傷ヲ受ク  
 一ハ〇〇敵機未獲長稍間斷有ルモ尚一ニ機死機物ニ未  
 獲ニ夜間未獲ノ算ナリ以テ各分哨及部隊衛兵等増  
 加セラル儘殘餘ノ人員ニ対シテハ隨時出勤シ得ル能ハシ  
 ラ以テ待機セシメ夜ヲ徹ス

ニ戦線救護ノ状況

一日敵機未獲上共ニ任務室ハ予ネテ定メタル中隊防衛規定  
 ニ依リ津嘉山村ニ洛西方山腹ニ堰敷セラレタル洞窟内ニ移動  
 スルモ衛生材料医板並ニ中隊担架隊(後編)收容ヲ完了

リニ降下ス

一、<sup>豊原村</sup>村全良焼夷彈ニヨリ大炎發生セルニ依リ直々ニ中隊  
 八某ニ隊長ヲシテ予々編成シテ消火要員ヲ現場ニ急派セルニ所在  
 次第ニ隊員ト協同消火ニ努ムルモ該方面ハ小緑飛行場攻重  
 ニ對シテ敵機通過頻繁ニシテ燒夷彈及小型爆彈ヲ投下シタメ  
 大炎發生ニ冒大タルヲ以テ更ニ消火要員ニヨリ急派セルヲ消火並  
 二、本隊種々搬出作業ヲ實施セルニ作業中陸軍二等兵牛田  
 南雄ハ敵彈ヲタメシテ所ニ爆彈破片傷ヲ受ケ、爾後全員決  
 死の内用大佐業々依リ約一時間後鎮火セルニ他ニ類焼ナカラレタリ、  
 三、一三〇〇階層ニ下隊擔任、各集積所敵遺棄分哨ヲ人員其他ニ  
 對シ與テ中ナキ旨、報告ヲ受ケ

一、三、二敵機七機編隊ヲ以テ津嘉山上空ニ襲撃シ小型爆彈數個ヲ投  
 下セルカ爲貨物廠本部附近ノ民家ヨリ三ヶ所ノ火ヲ生シ直々ニ茅  
 三、小隊ヨリ貨物廠ニ派遣セル所ニ在、防火要員ハ現場ニ至リ消火ニ努

メニ燒ニ至リシレテ鎮火セルメタリ

爾後敵機ハ高度及超低空ヲ以テ各港灣及車庫建築物業  
 コヲ亂射シ尚各部各對シテ盲目射ヲ及復ス就中二傳暮ニ至リ  
 彈種不明ノ小型爆彈投下激シテ諸勤務及連絡者ノ行動  
 コ著シク阻害セリ一七〇〇濱野二等兵ハ中隊連絡ヲ爲行動中  
 本部前道路上ニ於テ左大腿部ニ爆彈破片傷ヲ受ケ  
 一八〇〇敵機、未離夜稍間斷有ルモ尚一ニ機宛擲物ニ未  
 離夜間未離、冒大タルヲ以テ各分哨及部隊衛兵等嗜  
 加セシメタル儘殊餘ノ人員ニ對シテハ隨時出動シ得ル能ハル  
 コ以テ待機セシメ夜ヲ徹ス

二、戦線救護ノ状況

當日敵機未離ト共ニ任務室ハ予ネテ定メタル中隊防衛規定  
 ニ依リ津嘉山村ニ洛西方山腹ニ砲臺セラレタル洞窟内ニ移動  
 五ト共ニ衛生材料医板並ニ中隊担架隊(機務)救急ヲ完了



ニ待機ニ安勢ニ於テ待避ス別ニ大島衛生通書又衛生兵一  
ハ救急材料ヲ携行シ医療室附近ノ山中壕内ニ位置ス(衛生  
部員衛生材料位置及行動ノ附圖也)

一五五長室ニ於テ作業中牛田ニ尋兵下肢負傷ノ報アリ

小松苗圃中尉ハ直ニ中村衛生兵長又担架一(担架兵三)ヲ  
現場ニ急派シ一ニ一ニ洞窟内ニ收容シ又傷部位ヲ検シ止血

骨打等急ニ処置スル處置不十分ニ確メ防護帯ヲ施ス傷者

ハ洞窟内ニ横臥休息長セシメ救護班ハ依然待機ニ態勢ヲ継続ス

一七〇敵機ニ襲撃ノ間隙ヲ利用シ中隊本部ハ連絡ノ遺野一尋

兵本部前路ニ飛来セル破片ニ左氣路部ヲ負傷セラレ折

柄五米距タリ退避中中村衛生兵長ハ之ヲ目撃手ニ近キ現場

ニ於テ止血ヲ試ミルト共ニ之ヲ洞窟内救護班ニ急報ス依テ小松軍

医士尉ハ担架一ヲ急派シ直ニ之ヲ收容シ緊急縛セル繃帯ヲ施シ  
受傷部位ヲ検スルニ幸ニ止血セラレ以テ防護帯ヲ施シ洞窟内ニ休

養セシム傷者ノ負傷状況ハ更ニ緊不急ニ處置中術ヲ継続

二〇〇頃敵影ヲ認ムルニ至リテ自動貨車ニ依リ傷者二名ヲ中

繩陸軍病院ニ入院セシメタリ而シ救護班ハ更ニ究發事故ノ

發生ニ憂ニ待機ニ態勢ヲ復セリ

小川所在某小隊ハ衛生上等兵一ヲ既屬セシメ空襲間異常

ナルト報告ス

三襲ニ球ヲ入ルニ依リ某小隊ハ依然兵器廠ノ指揮下ニ在リ

一月三日空襲戦斗ニ對シ左記通り行動ス

ロモロ前後間東方上空ヨリ那覇方向ニ向キテ編隊ヲ成シ敵機

群小隊駐留地上空ヲ通過スルヲ望見シ直後我々地上制空部隊

銃砲声ヲ聞リ小隊ハ直ニ疎ハ計画セル處ニ基キ兵器被服

其他ノ資材ヲ所定ノ箇所ニ搬出スルト共ニ人員ヲ分散待避セム

敵ハ遂ニ核致ラザルニ編隊ヲ以テ間断ナク來襲ニ未モ攻

撃直上ヲ那覇首里其他各地ニ播散セシメ

待我、安勢ニ於テ待置ス、別ニ大島衛生官普及衛生兵一  
ノ救急材料ヲ携行シ、直叙カ空附近ノ山中壕内ニ位置ス(衛生  
官普及衛生兵トシテ、又行動ノ困難ナリ)

一、又、安勢ニ於テ、中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)  
小松衛官守衛ノ直ニ中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)  
現、安勢ニ於テ、中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)  
一、又、安勢ニ於テ、中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)  
一、又、安勢ニ於テ、中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)  
一、又、安勢ニ於テ、中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)  
一、又、安勢ニ於テ、中村衛生兵長又担架一(担架兵ニ)

三、襲撃隊ヲ入ルニ依リ、第一隊ハ依然兵器廠ノ指揮下ニ在リ、  
一月三十一日空襲被撃トシ、對シテ左記ノ通り行動ス。  
ロ、ロ、前後間、東方上空ヨリ、那霸朝方向ニ向キ、機編隊ヲ成ル敵機  
群ト隊駐留地上空ヨリ通過スルヲ望見シ、直後我々地上制空部隊  
ノ銃砲声ヲ聞キ、小隊ハ直ニ隊ノ計画セル處ニ至リ、兵器被服  
其他ノ資材ヲ所定ノ箇所ニ搬出スルト共ニ、人員ヲ分散待避セム  
敵ハ隊友被撃ヲ増シ、大小ノ編隊ヲ以テ間断ナク来襲セ、来ルモ攻  
撃直上ヨリ、那霸朝首里其他ノ各地ニ指示セルモノ、如何ニ被撃ス

三、襲撃隊ヲ入ルニ依リ、第一隊ハ依然兵器廠ノ指揮下ニ在リ、  
一月三十一日空襲被撃トシ、對シテ左記ノ通り行動ス。  
ロ、ロ、前後間、東方上空ヨリ、那霸朝方向ニ向キ、機編隊ヲ成ル敵機  
群ト隊駐留地上空ヨリ通過スルヲ望見シ、直後我々地上制空部隊  
ノ銃砲声ヲ聞キ、小隊ハ直ニ隊ノ計画セル處ニ至リ、兵器被服  
其他ノ資材ヲ所定ノ箇所ニ搬出スルト共ニ、人員ヲ分散待避セム  
敵ハ隊友被撃ヲ増シ、大小ノ編隊ヲ以テ間断ナク来襲セ、来ルモ攻  
撃直上ヨリ、那霸朝首里其他ノ各地ニ指示セルモノ、如何ニ被撃ス

附近ニ終始投擲並ニ銃撃ヲ見ナルモ我々高射砲彈片並ニ彈道不明ノ爆發物類ニ落下シ来リ正午前後特ニ甚ク多量落山(山)住民中ニ負傷者一ヲ出スニ至ル全時刻頃山川西方ニ村附近ニ火災起リタルモノ、如ク里煙ヲ望見スルモ短時間ニ消滅ス

一六〇号ニ分隊長ヲシ山川喜屋武、友寄、擔任衛兵所ヲ巡察セシメ異常ナキ旨ノ報ニ接ス

全時刻頃華城衛兵所附近甘蔗畑ニ火災發生セルモ直ニ消火集積物件ニ異状ナキ旨ノ報出ラリ一七〇号敵四核編隊ヲ以テ駐留地上空ヲ超低空ヲ以テ通過シテ銃爆音ヲ行ハス

落音等ニ至リ敵核、未襲稍、間断有ル如キモ而モ尚撤擲ニシテ引續キ夜同来襲夜半少シトセサルヲ以テ小隊長ハ山川喜屋武、衛兵ヲ増加セシメ、残余人員ヨリテ依然非常態勢ノ態隨時出動し得ル如キ態勢ニ在リテ夜ニ入ラシム

一九三〇号襲來警報解除ノ情報入午セルモ全時刻頃古彼我不明核爆音間ニ更ニ一九五〇頃敵核判断セラル、編隊核駐留地ニ空ヲ通過セルヲ以テ小隊長ハ態勢ヲ變更スルコトナリ特ニ翌拂曉時ニ於ケル敵核、未襲ニ備ヘ、夜ヲ徹ス

四 我方ノ損害及其他事項

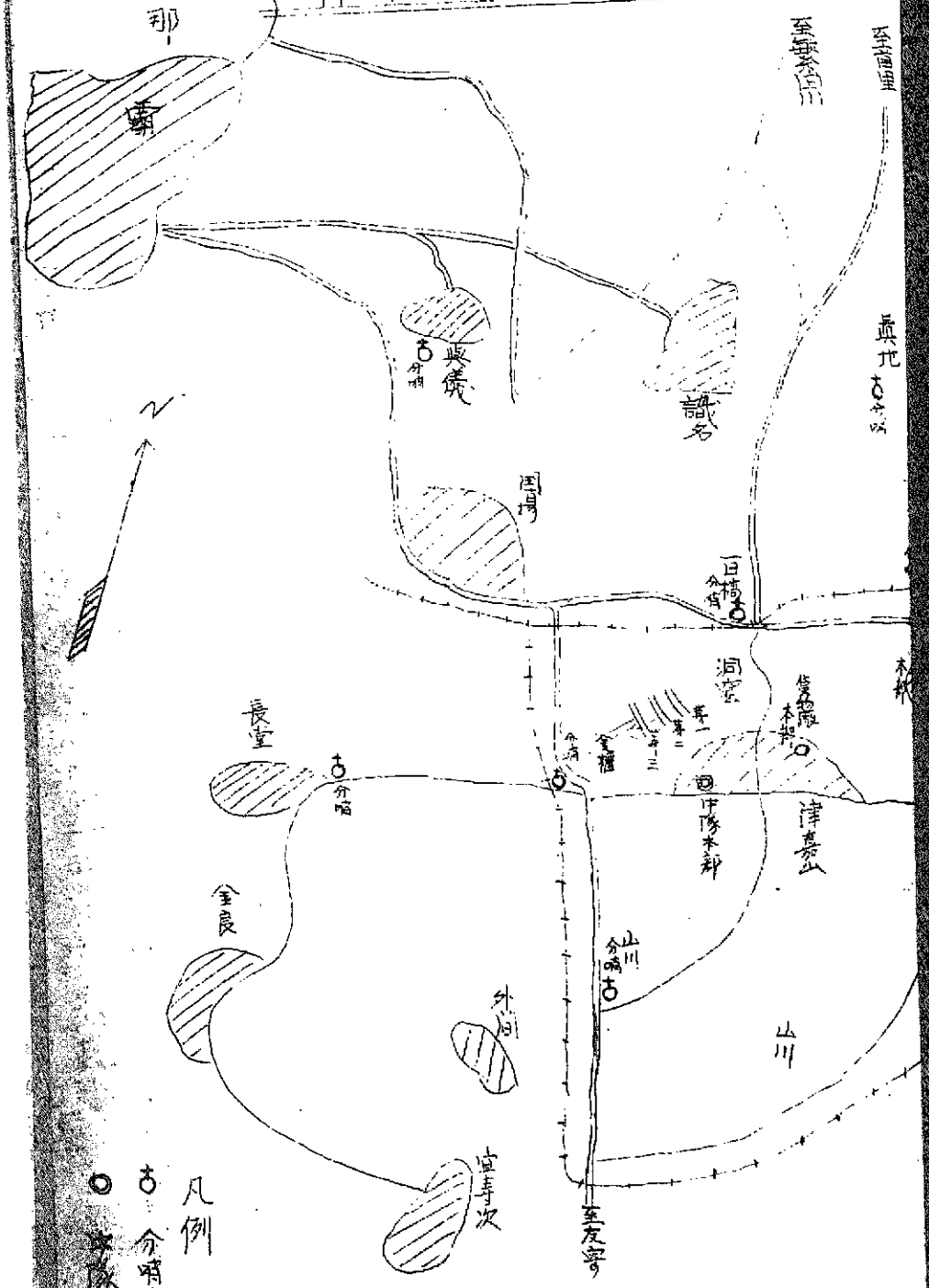
一月三日陸上勤務第七三隊死傷表

隊員姓名	死	傷
五	四八九	ナシ
ナシ	ナシ	ナシ
ナシ	ナシ	二

五 將來參考

一、一〇〇号空襲ニ鑑ミ有人器具ノ擴充、結果消火ニシテハ一層ノ効果アリ  
 二、當時中隊ノ作業ノ開始上始ニ全員作業ニ出動シ舍内監視者ヲ可疎留セルメアルノミニテ非常ノ際ニ於ケル被服兵器其他器具ヲ持出

一月二十二日 配備要圖



ニツイテ困難ニテ考テ原案ニ作業出動前防定據ニ退避保存ニ置キ  
タルヲ持テ今回ノ空襲ニ際シ被害ヲナカラシメタル最大ノ原因ト思考ス



陸上勤務事務第七三隊防衛計出(按要)

一、此後敵警報發令と同時に左計因據ル

二、衛兵

一、部隊衛兵五名増加衛兵ヲ既置シ全櫃及重子書類ヲ保  
管ニ任セシム

二、部隊衛兵全櫃及重子書類ヲ裏山洞窟内ニ保管シ其位  
置ニ備兵所ヲ移動スルモトス

三、貨物廠部隊長宿舎ノ歩哨ハ空襲ト同時ニ撤去シ  
移動セシムニ從ヒ其位置ニ於テ之哨ヲ整ニ任ス

四、哨衛兵五名ハ其ニ隊ヨリ差出スモトス

三、哨防班編成

一、貨物廠哨防班ハ部隊衛兵下番者常時之ニ差出スモトシ其五  
名ハ哨防員ヲ其ニ隊ヨリ差出シ計ニ三名ノ要員ヲ以テ編成ス

哨防班長ハ右ニ差出シ指揮シ部隊本隊ヨリ差出シ指揮スル

2700-203	圖書番号 20.1.21-22 対空戦闘詳報	保管番号
1	受入年月日 昭和	数量
和洋	種別 一復・二復	備考
著者名	第32軍團司令部 (中隊本部地中隊)	
発行所		
所屬階級	氏名	年月日
	伊藤常男	4.8.26
		4.10.4

沖台  
沖繩  
227

年	系
圖書番号	
沖台	
沖繩	
227	
2700-203	
1	

沖台  
沖繩  
227

二、中隊同防班人員、第一小隊ヨリ七名、第二小隊ヨリ三名計十名以下編成、消防班長ハ田中士官、指揮ヲ受ケルシ  
 四、空襲時ハ、集合場所  
 一、消防班ハ中隊長宿舎前  
 二、増加精兵ハ衛兵所  
 三、残餘人員ハ指揮時、第一小隊、第二小隊、第三小隊ハ所定洞窟内ニ退避シ、補給命令ヲ待ツモトス  
 五、防護班人員ハ如シ  
 一、衛生班一、衛生下士官一、衛生兵二、兵六、第一小隊ヨリ退避モトス  
 二、防護班開設、位置ハ直線山第一洞窟トス  
 六、隊員今所ト連絡、中隊長指揮時ヨリ上官一兵ヲ差出シ、密ニ連絡ヲ通ラシム  
 七、中隊長位置ハ空襲警報ト同時ニ第一洞窟前トス  
 八、上掲時任在以外被服兵器事務重宝書類ハ洞窟ニ作業出勤前ニ保管シ置クモトス